

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における
ホストタウン関係府省庁連絡会議」(第12回)
議事要旨

日 時：令和3年9月28日(火) 9:15~9:30

於：オンライン開催

出席者：

	役職	氏名	備考
議長	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣	まるかわ たまよ 丸川 珠代	
副議長	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長	とよおか ひろき 豊岡 宏規	
構成員	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局長	わたなべ そのこ 渡辺 その子	
	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官	かつの みえ 勝野 美江	
	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官	うえまつ こうじ 植松 浩二	
	内閣府大臣官房政府広報室長	わたなべ きよし 渡邊 清	
	内閣府地方創生推進室次長	よしぞえ けいすけ 吉添 圭介	
	警察庁長官官房審議官(警備局担当)	もりもと よしゆき 森元 良幸	
	復興庁統括官	はやし としゆき 林 俊行	
	総務省大臣官房地域力創造審議官	ばば たけじろう 馬場 竹次郎	
	外務省大臣官房外務報道官・広報文化組織参事官／外務副報道官	おかの ゆきこ 岡野 結城子	代理
	スポーツ庁次長	くしだ としみ 串田 俊巳	
	文化庁次長	すぎうら ひさひろ 杉浦 久弘	
	厚生労働省政策統括官(総合政策担当)政策立案総括審議官	たなか さちこ 田中 佐智子	代理
	農林水産省農村振興局長	まきもと こうじ 牧元 幸司	
	経済産業省大臣官房商務・サービス審議官	ほたけやま ようじろう 畠山 陽二郎	
	国土交通省総合政策局長	わだ のぶたか 和田 信貴	
観光庁次長	むらた しげき 村田 茂樹		
環境省総合環境政策統括官	わだ とくや 和田 篤也		
	国際博覧会担当大臣	いのうえ しんじ 井上 信治	
オブザーバー	全国知事会調査第三部長	にしむら けん 西村 健	代理
	全国市長会事務総長	いなやま ひろし 稲山 博司	
	全国町村会事務総長	たけい たけじ 武居 丈二	

1. 議事

(1) 東京 2020 大会におけるホストタウン交流について

(大森内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局参事官より説明)

- ・資料 1 をご覧いただきたい。
 - ・ホストタウンとは、東京大会の開催を契機として、全国の地方公共団体と大会参加国・地域の住民等が様々な交流を行うことで、地域の活性化等に活かすもの。
 - ・ホストタウン登録数は最終的に 462 件、自治体数 533、相手国・地域数 185 という大きな取組となった。
 - ・ホストタウン活動の概要をいくつか申し上げる。まず、ホストタウンではスポーツのみならず、文化、教育、経済など様々な分野での交流が展開された。
 - ・コロナ禍という制約の中でも、様々工夫を凝らしてオンラインの交流など活発な取組を実施した。
 - ・大会期間中には、オンラインイベントで「ホストタウンハウス」を開催し、様々なホストタウンの取組の紹介、プロジェクトの展示を行った。
 - ・相手国の方々と一緒にオンラインで選手を共同で応援する取組を実施するなど、2021 年を越えた絆を深めた。
 - ・東京大会に際して、ホストタウン等では、内閣官房で作成した手引きを踏まえて、コロナ対策について「選手等受入れマニュアル」を作成し、必要な感染症対策を講じたうえで受入を実施していただき、9,000 名を超える選手団の受入が行われた。
- (以降、資料 2 ページから 8 ページをもとに、事前合宿、大会期間中の交流、事後交流、相手国を同じくするホストタウンが連携した交流、ホストタウンハウス、復興ありがとうホストタウン、共生社会ホストタウンの事例を紹介)

(2) ホストタウン自治体・関係者への表彰状・感謝状の贈呈について

(大森内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局参事官より説明)

- ・資料 2 をご覧いただきたい。
- ・ホストタウン交流（①大会等に参加するために来日する選手等、②大会参加国・地域の関係者、③日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流）を実施したホストタウン自治体と、ホストタウン交流の推進に関し貢献をいただいた関係者の方々に對し、東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進副本部長である丸川オリパラ担当大臣から、表彰状、感謝状を贈呈する。
- ・贈呈式は本日 13 時から、オンラインでの開催を予定している。

(3) その他

ア 林復興庁統括官より発言

- ・復興ありがとうホストタウンの取組は、東日本大震災発災後に様々な支援をいただいた相手国・地域との交流を通じて感謝の気持ちや、今現在進行形で復興しつつある状況を発信する重要な取組であり、今後も各自治体で工夫しながら関係を更に発展させていきたいと考えている。
- ・復興庁としても、今後被災地の復興をさらに前に進めていくためにも風評払拭やコロナ禍の影響で大きく落ち込んでいる観光振興も含めて被災地の魅力を海外に向けて情報発信することは今後も取り組むべき重要な課題であると考えている。
- ・今後とも復興ありがとうホストタウンの取組について、内閣官房をはじめ関係機関と連携してしっかり取り組んでまいりたい。

イ 和田国土交通省総合政策局長より発言

- ・共生社会ホストタウンの自治体では、これまでコロナ禍による行動制約がある中で、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取組を強力かつ一体的に推進していただいた。
- ・国土交通省としては、東京 2020 大会後も、大会のレガシーとしての真の共生社会の実現に向けて、共生社会ホストタウンをはじめとする全国の市町村における、ハード・ソフト両面からのバリアフリーの取組を最大限支援していく所存である。
- ・具体的には、地域におけるバリアフリーの取組を推進するため、バリアフリー基本構想等の作成促進に向けた支援を行うほか、今年度から 5 年間のバリアフリー整備目標に基づいて、全国、とりわけ地方部のバリアフリー化に取り組んでいく。
- ・今後とも、関係省庁の皆様のご協力をお願いする。

ウ 井上国際博覧会担当大臣より発言

- ・丸川大臣はじめ関係者の大変なご苦勞によりコロナ禍の困難な中で東京大会が成功裡に開催されたこと、御礼申し上げます。
- ・この東京大会の成功、モメンタムを、次なる国家プロジェクト、2025 年大阪・関西万博につなげていくことが何より大事と考え、本日出席させていただいた。
- ・関係省庁・自治体、都道府県、市町村の関係者の方々には、2025 年の大阪・関西万博に向けての取組においても、大変お世話になっており、感謝申し上げます。
- ・万博では 150 カ国・25 国際機関の参加を目指しており、海外からの来場者は 350 万人を見込んでいる。開催までいよいよあと 3 年半に迫った今、万博関係者一丸となって機運醸成に取組み、頑張ってもらいたい。
- ・せっかく準備されてきたホストタウン交流がコロナ禍で大きく影響を受け、大変残念という声、今後の事後の交流に期待される声などを、自分も耳にしている。そうした中、東京大会後の交流を充実させていく話題の一つとして 4 年後の大阪開催万博もぜひ活用していただければと思っている。
- ・万博の側としても、東京大会で構築されたホストタウン交流の仕組みを活用し、万博の全国的な機運醸成につなげていきたい。
- ・こうしたことは、今後、東京大会のホストタウン交流をフォローアップする会議などの場において、自治体の皆さんにもよくご説明して参り、よく連携させていただきたいので、自治体の皆様、オリパラ事務局・関係省庁の皆さんにもよろしくお願ひしたい。

4 丸川東京オリンピック・パラリンピック担当大臣挨拶

- ・井上大臣からは、大会開催に関し温かいお言葉を賜り、感謝申し上げます。
- ・改めてこのコロナ禍という大変厳しい中での開催であったが、選手が自己の限界に挑戦し、躍動する姿を皆さんとともに見ることができた。関係府省庁の皆様方には、改めて、あらゆる場面でご協力、ご尽力いただいたことに、心から感謝申し上げます。
- ・ホストタウンについては、コロナの影響で選手団の来訪を中止する自治体も多かったものの、最終的には全国の 200 を超える自治体に 9,000 人を超える選手団の方々来訪され、大会に向けた事前キャンプや住民の方々との交流が行われた。
- ・また、直接の交流ができなかったホストタウンにおいても、オンラインを活用したり、グラウンドと

見学席との間で距離を保って交流をするなど、様々な工夫を凝らして、選手団との交流を行っていただいた。私も、海外の皆様とホストタウンの皆様と一緒に、オンラインでの共同応援に参加させていただき、距離、時間を超えてくれるオンラインの素晴らしさを実感した。今後のホストタウン交流にも是非活用いただきたい。

- ・また、大会終了後すぐに、共生社会ホストタウン、復興ありがとうホストタウンとも、オンラインでそれぞれ協議会及びサミットを開催した。2021 年を越えて継続した取組を実施いただけるとの心強い言葉を各自治体の首長の皆様からいただいた。
- ・ホストタウンの登録自治体数は最終的に 533 となった。全国の自治体の約 3 割である。相手国・地域数も 185 と、参加国・地域のおよそ 9 割をカバーした。
- ・井上大臣から 2025 年大阪・関西万博に関するお話を頂戴した。ぜひホストタウンの取組、2021 年のその先に向かって、東京大会のレガシーとして、全国各地に蒔かれた種が花開いていくこと願ってやまない。次のステップへと新たなスタートを切っているホストタウンを引き続き、それぞれの現場からご支援賜るよう、心からお願い申し上げます。
- ・関係府省庁の皆様には、引き続きホストタウン応援団として、より一層のご協力・ご尽力をお願いし、私からの挨拶とさせていただきます。